

必修課目	課目名	関係法規・制度	授業方法	講義
------	-----	---------	------	----

履修学年	1学年	時間数	32時間	担当教員	嘉見 隆義
------	-----	-----	------	------	-------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容業（美容）に対する理美容師法による規制と行政による指導監督制度についての知識を深める。</li> <li>・法制度、衛生行政についての基礎的知識を深める。</li> <li>・社会における専門職としての理容（美容）師としての職業意識を高め、職業倫理を身につける。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期				
2 学期	第1章 法制度の概要	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活における法の役割について学習する。</li> <li>・法の形式について学習する。</li> <li>・衛生法規の概要について学習する。</li> </ul>	
	第2章 衛生行政の概要	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法と行政について学習する。</li> <li>・衛生行政の意義と歴史について学習する。</li> </ul>	
	第3章 理容師法・美容師法	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容（美容）師法の対象となる理容（美容）について学習する。</li> <li>・理容（美容）師養成制度、理容（美容）師免許制度及び管理理容（美容）師制度について学習する。</li> <li>・理容（美容）師の責務について学習する。</li> <li>・理容（美容）所について学習する。</li> <li>・理容（美容）の業に対する行政の指導監督制度について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
3 学期		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容（美容）師法違反の場合の反則について学習する。</li> </ul>	
	第4章 関連法規 期末試験	8 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連法規について学習する。</li> </ul>	

必修課目	課目名	衛生管理（公衆衛生・環境衛生）	授業方法	講義
------	-----	-----------------	------	----

履修学年	1学年	時間数	32時間	担当教員	古市 篤 / 伊藤義浩 鈴木 学
------	-----	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生の発展と歴史を理解し、その課題と理容（美容）業との関連とその役割についての知識を深める。</li> <li>・健康増進や疾病予防により公衆衛生の増進、健康の保持をはかるための予防医学についての基礎的知識を深める。</li> <li>・さまざまな環境要因が関与する中での理容（美容）業の役割と環境衛生についての基本的知識を身につける。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期	1 篇 公衆衛生	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生発展の歴史と具体的な課題と領域について学習する。</li> <li>・理容（美容）師と公衆衛生との関連、保健所と理容（美容）業の関連について学習する。</li> </ul>	
	第1章 公衆衛生の概要			
	第2章 保健	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健についての基礎知識を学ぶ。</li> <li>・成人・高齢者保健について学習する。</li> <li>・精神保健について学習する。</li> </ul>	
	2 編 環境衛生	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境衛生の概要について学習する。</li> <li>・空気感染を学習する。</li> <li>・衣服・住居の衛生について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2 学期		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上・下水道と廃棄物について学習する。</li> <li>・衛生害虫とネズミについて学習する。</li> <li>・環境保全について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
3 学期	期末試験	1		
2 年	期末試験	2		

必修課目	課目名	衛生管理（感染症）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	33時間	担当教員	渡邊くるみ 鈴木 学 / 伊藤義浩
------	-------	-----	------	------	----------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症についての知識のうち、とりわけ予防接種の効果、感染症の予防対策についての知識を深める。</li> <li>・感染症を「法律上」「進入門戸別」病原体別に分け、具体的な内容を理解し覚える。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年3学期	3編 感染症 第1章 感染症の総論 1節 人と感染症  2節 病原微生物	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生学、微生物学などの発展の歴史を知り、さらに感染症の法律上の分類方法などから、感染症の体系を学習する。</li> <li>・病原微生物について、その種類、構造、成分などを学習し、さらに、生活の状態、増殖の仕方、環境の影響などについて学習する。</li> <li>・人体の免疫や予防接種での抵抗力について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2年1学期	3節 感染症の予防	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の病原性と人体の感受性の相互関係と、汚染、感染、発病の経過を学習する。</li> <li>・免疫の仕組み、予防接種の効果や地域社会における感染症の発生の要因と対策について学習する。</li> </ul>	
	第2章 感染症の各論 1節 理容業・美容業と感染症 2節 主な感染症  3節 具体的な対策の例	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な感染症について、病原体、感染源、感染経路、症状、予防対策などを学習する。</li> <li>・理容美容の業務を通じて感染しやすい感染症や、法律で就業規制が加えられる感染症の中で主なものについて学習する。</li> <li>・具体的な接客時の感染予防対策を学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2学期	期末試験	1		

必修課目	課目名	衛生管理（衛生管理技術）	授業方法	講義
------	-----	--------------	------	----

履修学年	2年	時間数	32時間	担当教員	嘉見 隆義
------	----	-----	------	------	-------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消毒」は、不特定多数の人と接し、体に直接触れる理容師、美容師にとって必要不可欠な作業であることを理解する。</li> <li>・「消毒とは何か」という基本概念をしっかりと覚える。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期	<b>4編 衛生管理技術</b>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消毒とは何か」という基本概念や関係法規を学習したうえで、理学的消毒法・化学的消毒法の種類と特徴及び消毒法に対しての微生物の抵抗性について学習する。</li> <li>・理容・美容に関する法令のうち、公衆衛生に関する条項を理解する。</li> <li>・消毒法の基本と注意点について学習する。</li> </ul>	
	第1章 消毒法総論	7		
	1節 消毒とは			
	2節 消毒の意義			
	3節 理容・美容の業務と消毒との関係			
	4節 消毒法と適用上の注意			
	第2章 消毒法各論	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒薬の長所・短所について把握し、理容所、美容所での器具や布片類をはじめとする設備に対しての適切な消毒薬を学習する。</li> <li>・適切な消毒薬が効果的に作用する温度や時間や希釈方法について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2 学期	第3章 消毒法実習	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒薬を希釈する場合の濃度計算法や、器具の取扱いなどについて学習する。</li> <li>・消毒薬を常に正しく、希望する濃度に希釈できるように学習する。</li> </ul>	消毒薬の希釈の実際
	<b>第5編 衛生管理の実践例</b>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理要領の本文から、具体的な事例を交えて学習する</li> </ul>	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	保健（人体の構造および機能）	授業方法	講義
------	-----	----------------	------	----

履修学年	1年	時間数	42時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩 岩瀬香織
------	----	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容師、美容師として頭や顔及び身体的健康について正しく理解し、解剖学と生理学に関する具体的な知識を深める。</li> <li>・人体の解剖学的名称を理解したうえで、各系統についての知識を深める。</li> <li>・環境と生体について、保健を阻害する外的要因に対する防御機能についての知識を深める。</li> </ul>
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	5	・人体各部の名称と頭部、顔部、頸部の体表解剖学について学習する。	人体の構造パネルの活用
	第2章 骨格機能	5	・骨の種類と構造及び、骨格器系とそのはたらきについて学習する。	
	第3章 筋系	4	・筋の種類とその特徴と主な骨格筋とのはたらきについて学習する。	
	第4章 神経系	4	・神経系の成り立ちとそれぞれの神経についてはたらきを学習する。	
	第5章 感覚器系	4	・感覚器系が、情報を集める器官であることを理解し、その機能について学習する。	
	期末試験	1		
2 学期	第6章 血液と免疫系	4	・血液や免疫のあらまし、アレルギーなどについて学習する。	
	第7章 循環器系	5	・血液循環の仕組みについて学び、心臓と血管、リンパ管系のはたらきを正しく学習する。	
	第8章 呼吸器系	4	・呼吸系のあらましについて学び、肺の仕組みと呼吸運動について学習する。	
	第9章 消化器系	5	・消化管と消化腺のはたらきと消化器系の保健について学習する。	
	期末試験	1		
2 年	期末試験	1		

必修課目	課目名	保健（皮膚科学）	授業方法	講義
------	-----	----------	------	----

履修学年	1年	時間数	53時間	担当教員	鈴木 学 / 伊藤義浩 岩瀬香織
------	----	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚及び皮膚付属器官それぞれの構造・機能・保健についての知識を深める。</li> <li>・皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する知識を深める。</li> <li>・皮膚と皮膚付属器官の疾患に関する、症状とその原因及び予防や治療についての知識を深める。</li> </ul>
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期	第1章 皮膚の構造	5	・皮膚を単なる1枚の薄い皮のように考えがちであるが、非常に複雑な機能をもつ、しかも体中でもっとも大きな器官であることを学習する。	
	第2章 皮膚付属器官の構造	5	・脂腺・汗腺・毛・爪が皮膚の付属器官として表皮が変化したものであるということを学習する。	
	第3章 皮膚の循環系と神経系	2	・皮膚が正常なはたらきを保つための血管やリンパ管のはたらきを学習する。	
	第4章 皮膚と付属器官の生理機能	6	・皮膚の外界からの刺激に対するそれぞれの機能について身体内部のはたらきと結び付けて学習する。	
	第5章 皮膚と付属器官の保健	6	・皮膚は、絶えず外界からいろいろな影響を受けている。その変化と体の内部の健康状態とケアについて学習する。	
	期末試験	1		
2 学期	第5章 皮膚と付属器官の保健	5	・上記続き	
	第6章 皮膚と付属器官の疾患	11	・正常な皮膚の状態が崩れた場合の皮膚疾患について学習する。	
	期末試験	1		
3 学期	第6章 皮膚と付属器官の疾患	10	・上記続き	
	期末試験	1		
2 年	期末試験	1		

必修課目	課目名	化粧品化学	授業方法	講義
------	-----	-------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	64時間	担当教員	宮崎廣光／正時佐知恵 中島 彰宏
------	-------	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧品化学の概念、美容の施術を行う上で必要な基本的知識を習得する。</li> <li>・化粧品の正しい使用法、誤った使用法・管理方法で発生するトラブル等の総合的判断の知識を身につける。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点(60点)を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	第1編 化粧品総論			
	第1章 化粧品総論	3	・化粧品の定義、その種類や機能、諸規制について学習する。	8～14
	第2章 化粧品を使用する際に気をつけるべきこと	7	・化粧品の使用によるトラブル、定義と法規制、安全性と安定性について学習する。	15～40
	第3章 化粧品の成り立ち	4	・水と親水性溶媒、油性原料、両面活性剤について学習する。	41～94
	期末試験	1		
2学期	第3章 化粧品の成り立ち	10	・高分子化合物、色材、香料、製品と安定させる配合原料、その他の機能性配合原料、雑貨原料について学習する。	41～94
	第4章 化粧品の基本的なプロセス	6	・化粧品の効果と基本プロセス、ケア・メイクアップのプロセスについて学習する。	95～115
	期末試験	1		
3学期	第2編 化粧品各論			
	第1章 スキンケア製品	10	・クレンジング用化粧品、コンディショニング用化粧品、トリートメント用化粧品について学習する。	116～138
	期末試験	1		
2年1学期	第2章 メイクアップ製品	7	・メイクアップ用化粧品の種類と剤形、ベースメイクアップ化粧品、ポイントメイクアップ化粧品について学習する。	139～158
	第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップおよびスカルプケア製品	14	・シャンプー剤、スタイリング剤、パーマメントウェーブ用剤、カラーリング剤、育毛剤について学習する。	159～195
	期末試験	1		

必修課目	課目名	運営管理	授業方法	講義
------	-----	------	------	----

履修学年	2年	時間数	31時間	担当教員	中島彰宏 / 伊藤義浩
------	----	-----	------	------	-------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>接客の役割と基本的要素を理解し、行動できるようにする。</li> <li>就職するうえでの心構えや経営に参画する意味や、働くうえでの義務、権利をきちんと理解する。</li> <li>健康上の問題など、適切な職場環境を保持していくことの重要性について理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<p>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</p> <p>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点(60点)を与える。</p>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1 学期	第1編 経営者の視点			
	第1章 経営とは・経営者とは	3	・経営とは何かを理解し、その役割と課題について学習する。	
	第2章 理容業・美容業の経営について	2	・経営戦略を立案する基本的な流れを学習する。 ・業界の概要や変化、理容・美容のサービス業としての役割を理解する。	
	第3章 資金の管理	3	・会計の基本的な考え方、仕組みについて学習する。	
	第2編 人という資源 従業員としての視点			
	第1章 人という資源	3	・労務管理の役割について学習する。	
	第2章 従業員としての視点から	3	・社会の変化と労働の関係について学習する。 ・キャリアプランの重要性と社会人としての義務・責任について学習する。	
	期末試験	1		
2 学期	第3章 健康・安全な職場環境の実現	4	・健康管理の意義と健康診断について学習する。 ・理美容師に多い健康上の問題を取り上げ、どのような症状が出るのか、また、その場合の対応について学習する。	
	第3編 顧客のために			
	第1章 サービス・デザイン	3	・「価値とは何か」ということについて学習する。 ・マーケティングについて学習する。	
	第2章 サービス・マーケティング	4	・対象市場(ターゲット)について学習する。 ・インターフェイスとお客様との対話について学習する。 ・接客の基本的要素について学習する。	
	第3章 サービスにおける人の役割	5	・計画の必要性と、接客の流れとそのポイントについて学習する。	
	期末試験	1		



必修課目	課目名	文化論（前半）	授業方法	講義
------	-----	---------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	66時間	担当教員	伊藤 義浩 / 鈴木学 池野美香
------	-------	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行についての知識を深める。</li> <li>・流行のメカニズムを知り、時代を読みデザインを起こすための知識を身につける。</li> <li>・ヘアスタイル、服装などとのトータルバランス及び造形・色彩の原理を学び、感性を高める。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第1章 総論	2	・理容・美容との関わりが深い顔、化粧、髪について、一步踏み込んで学習する。	
	第2章 日本の理容業・美容業の歴史	8	・理容業の歴史をもとに、理容師、美容師がその発生以来、各時代の装いの文化の担い手として重要な役割を果たしてきたことを学習する。	
	第3章 ファッション文化史・日本編	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文・弥生・古墳時代について学習する。</li> <li>・古代（飛鳥・奈良・平安時代前期）について学習する。</li> <li>・中世（平安時代中期・鎌倉・室町時代）について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
3学期		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世前期（戦国・安土桃山・江戸時代前期）について学習する。</li> <li>・近世後期（江戸時代中・後期）について学習する。</li> </ul>	
2年1学期		18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代（明治時代・大正時代・昭和20年まで）について学習する。</li> <li>・現代（1945年代～）について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	文化論（後半）	授業方法	講義
------	-----	---------	------	----

履修学年	2年	時間数	66時間	担当教員	伊藤 義浩 / 鈴木学 池野美香
------	----	-----	------	------	---------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行についての知識を深める。</li> <li>・流行のメカニズムを知り、時代を読みデザインを起こすための知識を身につける。</li> <li>・ヘアスタイル、服装などとのトータルバランス及び造形・色彩の原理を学び、感性を高める。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2年1学期	第4章 ファッション文化史・西洋編	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代エジプトについて学習する。</li> <li>・古代ギリシャ・ローマについて学習する。</li> <li>・古代ゲルマンについて学習する。</li> <li>・中世ヨーロッパについて学習する。</li> <li>・近世（16世紀～18世紀）について学習する。</li> <li>・近代（18世紀末～19世紀初め）について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2学期	第5章 礼装の種類	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代（19世紀）について学習する。</li> <li>・現代（1910年代～）について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和装と洋装の礼装について学習する。</li> </ul>	
3学期				

必修課目	課目名	理容技術理論（１）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中西健太 / 伊藤 義浩
------	-------	-----	-------	------	--------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	序章	5	・理容技術理論、理容技術とは何かを学習する。	
	第1章 理容技術の基礎	5	・人体各部の名称、理容技術における技術姿勢について学習する。	・トレーニング方法の実際
	第2章 理容用具	13	・理容技術についてのトレーニング方法について学習する。	
	第3章 ヘアデザイン	4	・理容で使用する様々な用具について、名称、種類、特徴や機能と形態について学習する。	・実際の用具を使用
	第4章 ヘアカット	19	・ヘアスタイルをデザインするための造形の基本について学習する。	・ファッション誌などのヘアスタイルを活用
	第4章 ヘアカット	19	・ヘアスタイルの意義と種類、ファッションについて学習する。	
	第4章 ヘアカット	19	・シザーズとコームの持ち方、合同操作について学習する。	・ウィッグを使用しての解説と実際
	第4章 ヘアカット	19	・ヘアカットの基本原則について学習する。	
	第4章 ヘアカット	19	・スタンダードヘアの概要及びカット方法について学習する。	
	期末試験	1		
2学期	第5章 ヘアセット	9	・デザインヘアのカットシステムについて学習する。	・ウィッグを使用しての解説と実際
	第5章 ヘアセット	9	・ヘアセットの種類について学習する。	
	第5章 ヘアセット	9	・基本セット・ドライヤーセット等、ヘアセットの実践。	
	第6章 パーマネントセット	3	・パーマネントウェーブの原理とその用剤及び種類と特徴について学習する。	
	第6章 パーマネントセット	3		
	期末試験	1		

必修課目	課目名	理容技術理論（２）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中西健太 / 伊藤 義浩
------	-------	-----	-------	------	--------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年3学期	第6章 パーマネントセット	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーマネントウェーブ及びワインディングのプロセスについて学習する。</li> <li>・ワインディングにおける知識とその実践。</li> <li>・アイアニングの基礎知識とその実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグを使用しての解説と実際</li> <li>・ウィッグを使用し解説と実際</li> </ul>
	第7章 ヘアカラーリング	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染毛剤の種類と原理及びブリーチ剤の原理について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2年1学期	第8章 シェービング	6 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれ染め、白髪染めの実践。</li> <li>・シェービングの基本技術と要領を学習する。</li> <li>・レザーの持ち方と運行順序について学習する。</li> <li>・シェービングのプロセスについて学習する。</li> </ul>	ウィッグ及びレザーを使用
	期末試験	1		
2年2学期	第8章 シェービング	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェービング技術及び清拭法の実践。</li> <li>・レディースシェービングのプロセスとその実践。</li> </ul>	
	第9章 理容エステティック	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンケアに関する基礎について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2年3学期	第9章 理容エステティック	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルマッサージのプロセスとその実践</li> <li>・ハンドケアの目的と爪の構造について学習する。</li> <li>・ネイルケアの順序と実践。</li> <li>・ハンド&amp;アームマッサージの順序と実践</li> <li>・フットケアの基礎について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグ及び相モデル</li> </ul>

必修課目	課目名	理容技術理論（３）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	中西健太 / 伊藤 義浩
------	-------	-----	-------	------	--------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・理容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2年3学期	第10章 理容クリニック	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアクリニックのカウンセリングについて学習する。</li> <li>・ヘアチェック（毛髪診断）とスカルプチェック（頭皮診断）について学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグ及び相モデル</li> <li>・ウィッグ及び相モデル</li> </ul>
	第11章 シャンプーイング & リンシング	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプーイングの目的とシャンプー剤の種類と特徴について学習する。</li> <li>・シャンプーイングの方法と技法を学習する。</li> <li>・スタンドシャンプーの順序と実践。</li> <li>・バックシャンプーの順序と実践。</li> <li>・リアシャンプーの順序と実践。</li> <li>・リンシングの順序と実践。</li> </ul>	
	第12章 理容マッサージ	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージの意義と効果について学習する。</li> <li>・ヘッドマッサージの順序と実践</li> </ul>	
	第13章 ヘアトリートメント	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアトリートメントの種類と技術プロセスについて学習する。</li> </ul>	
	第14章 スカルプトリートメント	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカルプトリートメントの種類と技術プロセスについて学習する。</li> </ul>	
	総復習	2	総復習	

必修課目	課目名	美容技術理論（１）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	岩瀬 香織 / 小須田美裕 池野 美香 / 中島 彰宏
------	-------	-----	-------	------	--------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年1学期	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	3	・人体各部の名称、美容技術における作業姿勢について学習する。	・実際の用具を使用
	第1章 美容用具	8	・美容で使用する様々な用具について、名称、種類、特徴や機能と形態について学習する。	
	第2章 シャンプーイング	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプーイングの目的とシャンプー剤の種類と特徴について学習する。</li> <li>・シャンプーイングの方法と技法について学習する。</li> <li>・サイドシャンプーの順序と実践。</li> <li>・バックシャンプーの順序と実践。</li> <li>・リンス、コンディショナー、トリートメントの成分について学習する。</li> <li>・スカルプトリートメント及びマッサージの目的と技法について学習する。リンシングの順序と実践。</li> </ul>	
	第3章 ヘアデザイン	8	・美容とデザインについて学習する。	
	第4章 ヘアカットイング	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シザーズとコーム・レザーの持ち方、連携動作について学習する。</li> <li>・ヘアカットイングの基礎理論について学習する。</li> <li>・シザーズとレザーによるカット技法について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		

必修課目	課目名	美容技術理論（２）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	岩瀬 香織 / 小須田美裕 池野 美香 / 中島 彰宏
------	-------	-----	-------	------	--------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
1年2学期	第5章 パーマネントウェーブ ビング	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーマネントウェーブの歴史について学習する。</li> <li>・パーマネントウェーブの理論とパーマ剤の分類と注意事項について学習する。</li> <li>・パーマネントウェーブ及びワインディングのプロセスについて学習する。</li> <li>・ワインディングにおける知識とその実践。</li> </ul>	
	第6章 ヘアセッティング	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアセッティングの構成と要素について学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
3学期	第6章 ヘアセッティング	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアパーティングとヘアシェーピングの知識と実践。</li> <li>・ヘアカーリングの知識と実践。</li> <li>・ローラーカーリングの知識と実践。</li> <li>・ヘアウェーブの知識と実践。</li> <li>・ブロードライの知識と実践。</li> <li>・アイロンセッティングの知識と実践。</li> <li>・バックコーミング・アップスタイルの知識と実践。</li> <li>・ウィッグとヘアピースについて学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグを使用しての解説と実際</li> <li>・ウィッグを使用しての解説と実際</li> </ul>
	期末試験	1		

必修課目	課目名	美容技術理論（3）	授業方法	講義
------	-----	-----------	------	----

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	岩瀬 香織 / 小須田美裕 池野 美香 / 中島 彰宏
------	-------	-----	-------	------	--------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2年1学期	第7章 ヘアカラーリング	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアカラーの種類について学習する。</li> <li>・ヘアカラーのタイプ別特徴について学習する。</li> <li>・染毛のメカニズムについて学習する。</li> <li>・染毛剤使用時の注意事項について学習する。</li> <li>・ヘアカラーリング及びヘアブリーチの実際。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグを使用しての解説と実際</li> </ul>
	第8章 エステティック	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックの目的と皮膚の構造について学習する。</li> <li>・カウンセリングの方法について学習する。</li> <li>・フェイシャルケア技術について学習する。</li> <li>・フェイシャル及びデコルテマッサージについて学習する。</li> </ul>	
	期末試験	1		
2年2学期	第9章 ネイル技術	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイル技術の種類について学習する。</li> <li>・爪の構造と機能について学習する。</li> <li>・ネイルケア及びネイル技術の手順について学習する。</li> <li>・アーティフィシャルネイルの手順について学習する。</li> <li>・ハンドマッサージの手順について学習する。</li> <li>・顔の形態学的な観察について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィッグを使用しての解説</li> </ul>
	期末試験	1		



必修課目	課目名	美容技術理論（４）	授業方法	講義/演習
------	-----	-----------	------	-------

履修学年	1年・2年	時間数	161時間	担当教員	岩瀬 香織 / 小須田美裕 池野 美香 / 中島 彰宏
------	-------	-----	-------	------	--------------------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容技術を行う上での様々な器具用具等の名称及び使用目的についての知識を深める。</li> <li>・美容技術の意義と基礎知識を十分理解する。</li> <li>・各技術の理論を完全に理解する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験結果 100% 60点未満の場合、再試験を行う。</li> <li>ただし、50～59点の場合、日々の小テスト及びノート提出等、総合的に判断し合格点（60点）を与える。</li> </ul>

	単元・項目	時間	授業概要	特記事項
2 年 3 学 期	第10章 メイクアップ	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイクアップ概論について学習する。</li> <li>・ベースメイクアップについて学習する。</li> <li>・アイメイクアップについて学習する。</li> <li>・アイブロウメイクアップについて学習する。</li> <li>・リップメイクアップについて学習する。</li> <li>・ブラッシュオンメイクアップについて学習する。</li> <li>・ブライダルメイクアップについて学習する。</li> <li>・まつ毛エクステンションについて学習する。</li> </ul>	
	第11章 日本髪	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本髪の各部の名称と日本髪の種類と特徴について学習する。</li> <li>・日本髪の装飾品と結髪道具及び結髪技術について学習する。</li> <li>・かつらの扱い方について学習する。</li> </ul>	
	第12章 着付けの理論と技術	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物、帯、小物の種類について学習する。</li> <li>・着物の各部の名称及びたたみ方について学習する。</li> <li>・着付けの一般的要領について学習する。</li> </ul>	・着物を使用しての解説と実際
	総復習	10		